

京のセントラルパーク、歴史と自然のストック
京都御苑の魅力を発信

京都御苑



NEWS

Kyoto Gyoen
National Garden
News



winter

冬

第140号
2018.12.1

京都御苑ニュース

CONTENTS

- ▶ 近代京都と国民公園「京都御苑」の誕生
- ▶ 冬の御苑で昆虫を探してみよう
- ▶ 「洛中のオアシス」堀野記念館
- ▶ 学生コラム —同志社大学—
- ▶ Information



雪の京都御苑・中山邸跡。明治天皇生誕の地である

近代京都と国民公園「京都御苑」の誕生

二〇一八年の明治百五十年を記念して、二〇一七年冬号から一年にわたり巻頭特集を組み、江戸から維新を経て明治、大正、昭和へと至る京都の近代化並びにそれを巡る京都御所や御苑の変遷を振り返ってきた。今号では本特集の最終章として、名城大学教授である丸山宏氏に総覧していただく。

丸山 宏

国民公園京都御苑は来年（二〇一九年）、古稀を迎える。今では京都の貴重な緑地空間となり、レクリエーションの場として身近な存在になっている。御苑はいにしへの歴史の記憶を呼び起こさせるところでもある。小文では京都御苑の概略を明治維新後の京都の激動の時代にさかのぼって話をすすみたい。

京都御苑創設前後

明治維新後、明治天皇の東幸により京都は逼塞した。多くの公家は天皇に従って東京へ去り、御苑内の公家町は多くが空家、留守宅となり荒廃に瀕した。維新前の公家町の状況は「狹隘ニシテ皇居ノ体制ヲ得サリシカ」と『平安通志』に記されている。公家町の荒廃が逆説的ではあるが、のちの御苑整備に千載一遇のチャンスをもたらした。御所はいわば京都の「核」であったが、天皇不在は御苑の地を真空状態にした。京都は復興策として明治四年にはじまる京都博覧会にその活路を求め

た。明治六年から京都御所、仙洞御所、大宮御所を拝借し主要会場とした。御苑内では大相撲、能楽、書画会など今日でいうイベントが催された。拝借時代は明治十三年まで続く。明治初期、外国人の入京が厳しく制限されていたが、博覧会開催時には緩和された。今日的に言えばインバウンドといえるかもしれない。

明治十四年に御所の南東、仙洞御所の南側に常設博覧会場の開設された。その常設博覧会場の南東隅には一時、京都市立美術工芸学校の校舎があった。また、建礼門の南側の旧有栖川邸には明治十年まで京都裁判所があった。測候所（気象台）が明治十三年、旧鷹司邸の地に設置され大正二年まで存続した。

新たな施設が御苑内に開設される一方で、京都府の大内保存による整備が明治十年よりはじまる。京都府は宮内省から給付された大内保存費で御苑内の民有地を買収、樹木を植

栽し、皇宮附属地とした。近隣からの類焼防止と視線を遮るための御苑周囲の石垣は大内保存事業でできたものである。その後、明治十六年に明治天皇の指示で京都御所が即位礼の地となり、宮内省が御苑の整備を所管することになる。

図は大正大礼時の御苑の平面図である。建礼門から南に下る道が拡幅されるなど直線を基軸にした静謐で広々とした空間を演出するシンブルなものである。現在もほぼ継承されている。しかしながら大戦期には再び御苑は荒廃する。国民公園として再生するのは戦後である。

国民公園京都御苑の創設

京都御苑をはじめ新宿御苑、皇居外苑が国民公園の契機となるのは戦後間もない片山内閣時の昭和二十二年十二月二十七日、旧皇室苑地の運営に関する閣議決定にさかのぼる。閣議案には「旧皇室苑地の中、宮城外苑、新宿御苑、京都御所、白金御

料地等は速に文化的諸施設を整備し、その恩沢を戦後国民の慰楽、保健、教養等国民福祉のために確保し、平和的文化国家の象徴たらしめること」と記されている。

この決定は次の第三次吉田内閣にも引き継がれ、四条からなる「国民公園法案」が作成された。この法案の第一条第二項に「国民公園の区域は、厚生大臣が、これを告示する」とあった。当時、国立公園を管轄していた厚生省が担当となる案である。西田正憲氏（奈良県立大学名誉教授）によれば旧皇宮地の開放（公園化）はGHQの強い意向で、また、国立公園を主管している厚生省に所管を求めたとのこと。国民公園法には至らなかったが、昭和二十四年五月一日、厚生省令第十九号「国民公園管理規則」の省令で国民公園が胎動をはじめた。その後、省庁の改編で、環境庁（現在は環境省）に移管され今日に至っている。

古稀を迎える京都御苑の将来に何を望むのか。京都における文化的緑地の中核として、さらに都市の緑のオアシスとして継承されることを期待したい。

「京都御所古今図」

（『大正大禮京都府記事』庶務之部上 1917）

（名城大学農学部生物環境科学科 ランドスケープ・デザイン学研究室 教授）

自然・いのちのつながり

冬の御苑で昆虫を探してみよう

谷 幸樹



クビキリギスの口 口紅をしているのが特徴

葉を丁寧に拾い両面を見てみるとゴマダラチョウの幼虫が見つかります。

樹木の幹や枝を観察してみるとカマキリの卵塊やイラガの前蛹の状態の繭があります。

石の下にはゴミシの仲間やダンゴムシがいます。看板の裏側ではナミテントウムシの成虫の集団越冬やオオトビサシガメが、時々ヤモリと一緒に越冬している姿が見られます。

夏に御苑で観察会をした時に、参加者の子供が体長十二mmの大型のハラグロオオテントウを発見してくれました。この種は一年半の寿命があります。どこで越冬しているか見つけたいですね。

冬の陽ざしが強い時には、アカタテハ、ルリタテハ、キタテ

春から夏にかけて活動していた昆虫や生き物たちが冬の御苑ではその姿が見られませんが、よく観察をしてみると命がつながっていることが分かります。昆虫にとっては冬の寒い時期をどう乗り切るかが重要です。完全変態をする仲間には卵・幼虫・蛹・成虫と変態し、不完全変態は蛹がありません。昆虫は多様な環境の中でそれぞれの形で越冬しています。京都では十一月上旬、平均気温が十度前後になると越冬を始めます。エノキの大木の落ち



ナミテントウムシとオオトビサシガメ、ヤモリ

学生コラム

鬼門と猿

同志社大学文学部文化史学科4回生
小林丈広ゼミ 竹谷 哲也

京都御所の東北角の築地堀は角が欠けていることをご存知でしょうか。陰陽道では北東の方角が鬼門とされ、鬼門除けとしてここに猿が祀られています。そのため猿ヶ辻とよばれています。よく目を凝らして見ると御幣を持っていることが分かります。

猿がいるのは京都御苑だけではなく、猿ヶ辻を北東に歩いてすぐのところに幸神社があり、木造の猿が疫病・悪鬼・邪気の侵入を防いでいます。この猿は力強い眼が印象的です。さらに北東に進んだ赤山禅院というお寺の拝殿の屋根にも猿が祀られています。この猿は正面から見られるのが特徴的です。そこからさらに北東に進んだ場所にある滋賀県の日吉大社は日吉山王大神第一の使として猿が崇敬されています。西本宮楼門の四隅に様々なポーズの猿がいたり神猿舎で本物の猿が飼われていたりするなど猿にまつわるものがたくさんあります。ぜひこれらの場所にいる猿と京都御苑の猿を見比べてみてください。



日吉大社楼門の猿



京都御苑猿ヶ辻の猿



キンシ正宗創醸の地 堀野記念館

「洛中のオアシス」 堀野記念館

堀野知久

当館は堺町通二条上ルにあり、キンシ正宗創醸の地として、酒造文化、水文化、そして町家文化の伝承に努めております。地理的にも、歴史的にも京都御所様との繋がりは江戸時代中後期から深い関係にあります。

中でもこの御所南の地域には、当時二百軒ほどの酒造メーカーがあったことが、古文書に記されており、京の都にはそれほど良質で豊富な地下水が存在していたことを物語ります。最近の研究においても、京都盆地の下には琵琶湖に匹敵するほどの大量の地下水の存在が確認されており、水の恩恵なしでは京の都の繁栄を語れない証となっています。当館では、その水脈を同じくする名水の一つとして、現在『桃の井』があり、その水を利用し地ビールを製造しております。元来が酒造りの仕込み水として利用されていたものであり、一度味わってしまつと、その美味しさは格別で、口当たりの軟らかさは決して忘れられません。い



名水 桃の井

■堀野記念館
開館時間：午前十一時～午後五時（受付午後四時三十分まで）
休館日：毎火・水曜日（臨時休館あり。HPでご確認ください）
入館料：大人（成人）五百円（試飲付き）

（堀野記念館 館長）

かに都人が上質な水を口にしていたのが分かります。

とりわけ、この水は都人にとって命の水であり、食文化、酒造文化を育み、都に繁栄をもたらした立役者であると確信します。日々、その井戸を目の当たりにするにつけ、その恩恵に浴することに感謝せずには居られません。

ハ、テングチヨウの成虫が飛び回っています。朽ち木や倒れた樹木の中には、オオスズメバチの新女王バチやカブトムシの幼虫、アオゴミムシ、ハサミムシがいます。

草のある所にはツチイナゴや時には大顎が口紅色をしているクビキリギスの成虫に会うこともあります。

ところで、御苑にあるスタジイの太木には根元から二mの高さの所までポリエチレンのシートで覆われている光景が見られます。コナラ、アラカシ、スダジイ等のブナ科を枯らすカシノナガキクイムシの防除対策の一つとして行われていますが、すでに被害を受けている樹木も見られます。

枯らすのはナラ菌（糸状菌）ですが、この菌を運ぶのがカシノナガキクイムシで体長五mmの



京都御苑のカシノナガキクイムシの予防対策



ハラグロオオテントウ・表(右)裏(左)

円筒形の甲虫目の種です。被害を受けている樹木の現象をナラ枯れといいます。樹木に孔道を掘った時に出てくる木屑や糞の混ざった粉をフラスコと言います。また、直径約一・五mmの穿孔孔が多数あることでも分かります。

里山が利用されなくなつて、コナラ、クスギ等が太木になつてきたのが原因です。メスが穿入すると前胸背にある丸い穴（胞子貯蔵器官でマイカンギアと呼ばれる）にナラ菌と酵母菌を入れて運びます。

ナラ菌により木が枯れ、酵母菌を繁殖させて食べる「養菌性キクイムシ」です。終齢幼虫で越冬しますが、秋までに羽化して成虫で越冬する個体もあるといわれています。

ナラ枯れの根元から猛毒のカエンタケが発生することが多いので発見したら近づかないようにしましょう。

（京都自然観察学習会）

■イベントのお知らせ

京都御所の通年公開

公開日：通年(事前申し込み不要／無料)
ただし、下記は休みとなります。
月曜日(祝日の場合は翌日)
年末年始(12月28日～1月4日)
行事等実施のため支障のある日

公開時間：10月～2月/9:00～16:00(入場は15:20まで)

入場門：清所門

お問合せ：宮内庁京都事務所 ☎075-211-1215



京都御所紫宸殿

仙洞御所の参観

事前申込に加えて当日受付も行われています。
当日受付：仙洞御所にて11時頃から先着順に整理券を配布。

お問合せ：宮内庁京都事務所 ☎075-211-1215

京都迎賓館一般公開

日本の歴史・文化を象徴する京都で、海外から

の賓客をお迎えし、日本への理解と友好を深めていただくための国の迎賓施設です。

京都迎賓館
藤の間

公開日：詳細は迎賓館のホームページでご確認ください。

参観料金：大人1,500～2,000円 大学生1,000円～1,500円
中高生500～700円

お問合せ：迎賓館京都事務所 ☎075-223-2301

明治維新150年記念 連続講座(事前申込制)

京都御苑やその周辺が舞台となった明治維新に関する歴史をテーマとした講座です。(全9回)

日程：平成30年12月26日(水) 13:30～
(60～90分程度) 受付13:00～
最終回「内裏の変遷と大内保存事業」
* 申込開始11月28日～

場所：閑院宮邸跡収納展示館レクチャーホール

主催：環境省京都御苑管理事務所
☎075-211-6348 (平日のみ、9:00～17:00)

共催：NPO法人京都観光文化を考える会・都草

京都御苑冬の自然教室

苑内のいろいろな生きものを幅広く観察する初心者向けの自然観察会です。

日時：平成31年1月20日(日) 9:30～12:00

受付：9:00～9:20

集合：乾御門
(御苑北西地下鉄
今出川200m)



講師：京都自然観察学習会の先生方

内容：冬の御苑の植物、きのこ、昆虫や野鳥の生態を観察します。

参加費：100円(保険代)

その他：筆記用具、雨具・水筒の準備、野外活動に適した服装でご参加ください。

* 当日7:00時点で気象警報が発令されている場合など、やむなく中止する場合があります。

主催：環境省京都御苑管理事務所
(一財) 国民公園協会京都御苑



■苑内利用施設・サービスのご案内

閑院宮邸跡収納展示館

京都御苑南西角の旧閑院宮邸跡地に建つ公家屋敷の風格残る旧宮内省建物の遺構。収納展示室では京都御苑の歴史や自然が学べます。(無料)



開館時間：9:00～16:30 (入場は16:00まで)

休館日：月曜日(祝日は開館)、年末年始

アクセス：問ノ町口すぐ(御苑南西角)

拾翠亭(茶室)

五摂家の一つであった九條家の遺構で江戸時代後期に建てられた九條家別邸。

公開日：毎週木・金・土曜日、葵祭、時代祭
9:30～15:30 参観料 100円(高校生以上)

貸切利用：茶会、句会、謡曲等の会合にご利用できます。利用料については協会ホームページをご覧ください。



茶会ご利用の様子

休憩所(レストハウス・売店)

休憩やお食事・喫茶にご利用ください。

営業時間：9:00～16:30

富小路休憩所(御苑南東富小路口すぐ、テニスコート隣接) 軽食・喫茶、菓子等の販売。

—中立売地区再整備工事のお知らせ—

中立売新休憩所の建物が竣工しました。駐車場を含む地区一帯の再整備工事の完了は2019年3月末を予定しています。御苑利用者の皆さま方には今しばらくご不便をおかけいたしますが、ご理解ご協力をお願いいたします。

中立売新休憩所『京都御苑 檜垣茶寮』

中立売御門北側に2019年1月9日新規オープンの予定です。新たな装いの下、食事メニューも一新し、またお土産ショップも新装開店いたします。



お土産ショップ

駐車場

料金：乗用車500円 バス1,300円(最初の3時間)

中立売御門西駐車場(乗用車、バス)
入場 7:40～19:30 出場 24時間

—中立売御門西駐車場出入口変更のお知らせ—

再整備工事に伴い、駐車場出入口を中立売御門から蛤御門に変更しています。(1月中旬頃までの予定) 進入は、烏丸通を南下して左折のみとなります。

清和院御門東駐車場(乗用車専用)

入・出場 8:40～20:00(20:00以降閉鎖)

運動施設

富小路テニスコート(5面) 有料

富小路広場(6面)／**今出川広場**(3面) 有料
軟式野球・ソフトボールなどにご利用ください。

申し込み：国民公園協会京都御苑

御苑の冬の鳥



イカル



アオジ



トラツグミ



アオバト

京都御苑Instagram／Twitterで最新の情報をチェック!



@kyotogyoen_info



@gyoen_info



会員募集(2019年度)のお知らせ

2019年度(2019年1月～12月)の国民公園協会京都御苑会員を募集します。

■年会費

●普通会員……………1,000円以上
●賛助会員(会社・団体)……………10,000円以上

■会員特典

1 京都御苑ニュースの送付
2 葵祭及び時代祭の観覧席招待券の進呈(ただし普通会員は会費4,000円以上の方に限ります。)

■申し込み・お問合せ先
(一財) 国民公園協会京都御苑



編集後記

明治150年記念特集号の最後を飾り、名城大学の丸山先生に御寄稿いただいた。新元号となる2019年に御苑の中立売地区も新たに生まれ変わり、1月に新休憩所もオープンする。歴史と伝統を踏まえ、新たな価値を発信していきたい。(発行人 池田善一)

企画・発行／お問合せ先

一般財団法人 国民公園協会 京都御苑
〒602-0881 京都市上京区京都御苑3
TEL 075-211-6364

編集

白川書院

監修

環境省京都御苑管理事務所



本誌は環境省の再生紙を使用しています